

1) 診療所の診療哲学について、過去・現在どのように変遷してきたか	ここでは「健康を守り育てる歯科医療」と認証申請診療所とのかかわり、変遷などを述べていただき、従来型の歯科医療とヘルスケア研究会が目指すものとの違いを理解しているかなどについても判定したい。	モチベーションは明確か？ 従来型医療との違い明確か？	/10点
2) 医院のプロフィール紹介は適切か	医院の状況がよくわかるか、その医院の良い点、問題点などがきちんと認識されているか。	沿革・特徴・環境 人の体制－問題あればその自覚 その他、長所、問題点の自覚	/10点
3) 診療の流れが十分確立されているか	どのような考え方、治療の進め方がなされているか、リスク診断・バイオフィルムコントロールなどが、適切に組み込まれているか。	治療の進め方の確立？ リスク診断・患者の健康行動変容などが、適切に組み込まれているか？	/10点
4) チーム医療が十分に確立されているか	チームとして機能しているか、長所短所、課題が示されるか。	院長とスタッフ、スタッフ相互の情報共有 院内ミーティング 新人教育・スタッフ教育体制 チームの課題の認識	/10点
5) データ（来院者データ・臨床データ）を通して何を学んできたか	データをとらなかつたときと、とってからと学んだことの違いは何か（データの分析ができていないか、データの意義を理解しているか） データおよび規格化された資料を通じて、治療の質を評価する。	データを取ったことからの学び データ分析の有無 データの評価・考察	/10点
6) う蝕のリスク管理について	ハイリスクをコントロールした症例やう蝕管理に苦労した症例などを通してその医院のう蝕に対する取り組みと規格化された資料を評価したい。	臨床データおよび規格化された資料 経過の分かる症例 困難・問題の分析 リスク評価	/20点
7) 歯周病の治療とリスク管理について	データおよび規格化された資料を通じて、治療の質を評価する。	臨床データおよび規格化された資料 経過の分かる症例 困難・問題の分析 治療の質	/20点
8) 地域住民・国民に対して、行ってきたまたは、行おうとしている貢献が評価できるか。 9) ヘルスケア歯科研究会に対して、行ってきたまたは、行おうとしている貢献が評価できるか。	これは認証の必要条件ではないが、評価項目である。このような項目に該当する活動があるか、行おうとしているか。	地域活動実績、計画 研究会活動実績、計画	/2項目 で5点
10) 将来にむけての診療所作りの目標は明確であるか	全体を総括し、将来目標、課題、展望を語ってもらいたい。	将来への目標、課題、展望	/5点
赤点（10点配点で6点以下、20点配点で13点以下）としたときには、この欄に項目番号と理由をメモしてください。事後整理して申請者にお伝えします。			/100点

《採点基準》 採点はいずれの項目も（10点配点の場合）

きわめてすぐれている

10点

幾分物足りない

6点

かなりすぐれている

8点

かなり足りない

5～2点

合格ラインと思う

7点

発表として審査できない

1または0点

審査員名

プレゼンテーションの巧拙（分かりやすさ）は、各項目の加点に反映する。

各項目のプレゼンテーションの信頼性は申告された医院プロフィールや患者アンケートとの整合性から評価する。